

- 行政情報や民間データが充実してきており、調査に代えて活用可能なものがあるのではないか

2015年調査事項

1. 立地条件等 (DID及び生活関連施設までの所要時間)

【交通手段】

徒歩、自転車、自動車、バス・鉄道
(主な交通手段を選択)

【対象施設】

DIDの中心地、市区町村役場、農協、警察・交番、病院・診療所、小学校、中学校、公民館、スーパーマーケット・コンビニエンスストア

2. 農業集落の概況

- ・総戸数
- ・総土地面積
- ・耕地面積(田、畑、樹園地)

3. 農業集落内での活動状況

- ・寄り合いの回数・議題
(農業生産、農道・農業用水等の管理、集落共有財産の管理、環境美化等、農業集落行事、福祉・厚生、再生可能エネルギー)
- ・実行組合の有無
- ・地域資源の保全、都市住民、NPO・学校・企業との連携状況
(農地、森林、ため池・湖沼、河川・水路、農業用排水路)
- ・活性化のための活動の有無、都市住民、NPO・学校・企業との連携状況
(伝統的な祭り等の保存、イベントの開催、福祉活動、環境美化・自然環境の保全、グリーンツーリズム、6次産業化、定住の推進、再生可能エネルギー)

官民のデータ・技術
を活用して把握

対応の方向

1. 立地条件等 (DID及び生活関連施設までの所要時間)

- カーナビ情報等の民間データにより推計

【交通手段】

徒歩、自転車、バス・鉄道
(各交通手段について把握)

【対象施設】

左記に加え、駅、バス停、ガソリンスタンド、郵便局、道の駅

2. 農業集落の概況

- 国勢調査の小地域統計から世帯数を推計
- 国土地理院の地図データとGISを活用して求積
- 耕地面積統計のデータとGISを活用して求積(田、畑(樹園地を含む))

3. 農業集落内での活動状況

- ・同左
(詳細な調査項目については、調査手法と併せて検討。)

2020年農林業センサス農山村地域調査 削除項目の代替把握(案)

○ 生活関連施設までの所要時間

2015年調査の把握事項

【調査事項】

- ・主な交通手段(徒歩、自転車、自動車、バス・鉄道)
- ・所要時間(5階層)

【対象施設】

- ・DIDの中心地
- ・市町村役場
- ・農協
- ・警察・交番
- ・病院・診療所
- ・小学校
- ・中学校
- ・公民館
- ・スーパーマーケット・コンビニエンスストア

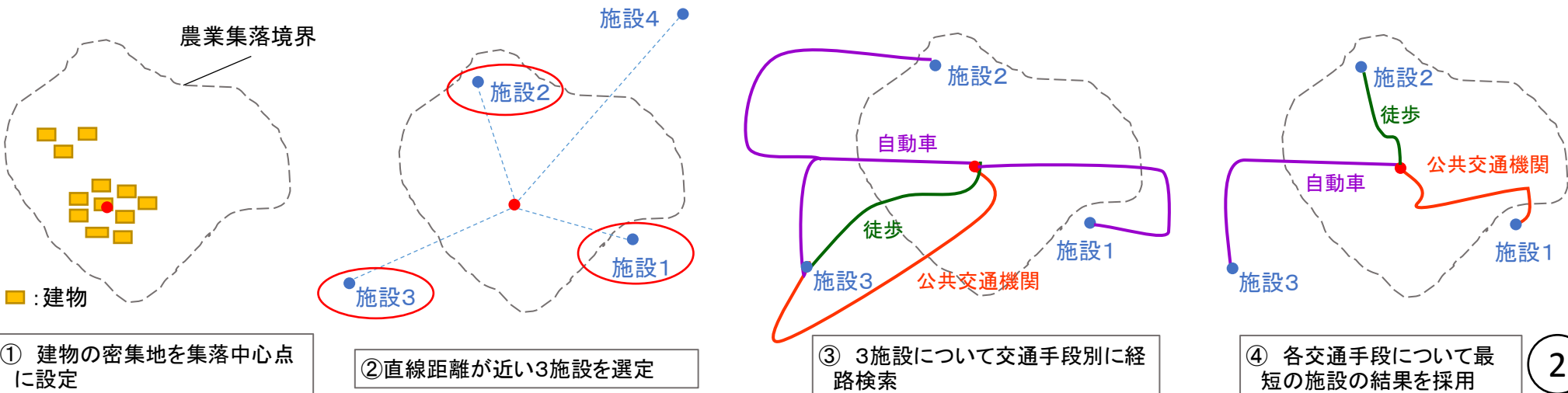
2020年における調査に代わる把握(案)

把握手順

- ① 国土地理院の地図における建物情報から農業集落の中心値を決定
- ② 各対象施設について集落中心からの直線距離が短い3箇所を選定
- ③ 集落中心から②の3箇所の施設までの経路を、それぞれ徒歩、自動車、公共交通機関の3種類の交通手段で検索し、所要時間を算出
- ④ 各交通手段について、3箇所の施設のうち所要時間が最も短いものを結果として採用

メリットと課題

- 既存の対象施設に加えて、カーナビで検索できる施設(駅、バス停、ガソリンスタンド、郵便局、道の駅など)であれば追加可能。(農協は、農協関連施設や金融のみの店舗等と把握対象の総合的な店舗の区別が地図情報で区別できない)
- 交通手段ごとの結果を出すことで、交通手段の違いによる影響を排除した地域間の比較が可能。
- 民間の地図に整備されていない情報(コミュニティバスなど)は結果に反映されない。



○ 総戸数

2015年調査の把握事項

【調査事項】

- ・総戸数

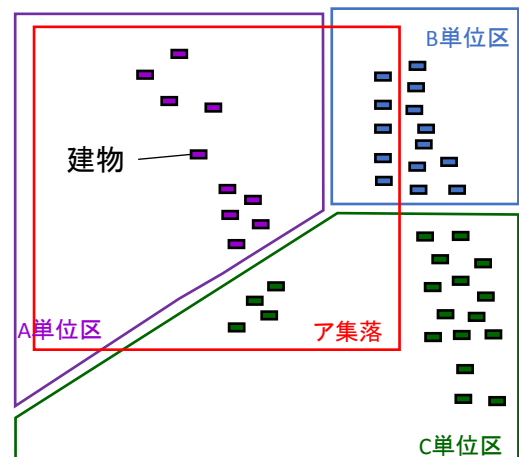
2020年における調査に代わる把握(案)

把握手法

- ①平成27年国勢調査の基本単位区、農業集落境界及び国土地理院の地図における建物情報をGISで比較し、各基本単位区の農業集落別按分比を建物数をもとにして算出。
- ②平成27年国勢調査の基本単位区別世帯数を①の按分比で農業集落別の世帯数を推計

メリットと課題

- 精通者の回答に比べ、機械的な手法により結果が安定
- 確定値を公表する平成32年度の段階では、平成27年の国勢調査結果を基にした値となる。(32年値公表後の更新は可能)



A単位区(8世帯): 10/10
B単位区(10世帯): 5/14
C単位区(20世帯): 4/19

ア集落
8+4+4=16世帯

○ 総土地面積・耕地面積

2015年調査の把握事項

【調査事項】

- ・総土地面積
- ・耕地面積
 - ・田
 - ・畑
 - ・樹園地

2020年における調査に代わる把握(案)

代替把握の手法

- ①各農業集落の面積をGISの機能により算出。
- ②各筆ポリゴンの面積をGISの機能により算出。
- ③各筆ポリゴンの重心点を包含する農業集落をGISを用いて特定。
- ④農業集落ごとに筆ポリゴン面積を集計。

メリットと課題

- 精通者の回答に比べ、客観的かつ正確な把握が可能。
- 筆ポリゴンでは樹園地が畑に分類されているため、樹園地面積は把握不能。

